

T_EX について

韓 問一

平成 12 年 11 月 15 日

1 T_EX と L^AT_EX

よく「T_EX を使っている」と聞くと、実はほとんどの人は直接 T_EX というソフトを使っているのではなく、論文などの文書作成に特化された T_EX ベースのソフト L^AT_EX を使っている。

2 L^AT_EX の特徴

1. WYSIWYG (What you see is what you get) ではない。
2. 視覚デザインツールではなく、論理デザインツール。
3. したがって、見掛けの体裁より内容の充実に専念できる。
4. 論理的な記述より、複雑な数式の表現ができる。

$$\sum_{i=1}^n z_i = \int_0^1 f$$

3 L^AT_EX の参考書

1. 奥村晴彦、「L^AT_EX2e 美文書作成入門—論文作成から DTP まで自由自在」技術評論社、1997 年
2. 乙部徹己 + 江口庄英、「pL^AT_EX2e for WINDOWS Another Manual Vol.1 Basic Kit 1999」ソフトバンク、1998 年¹

4 L^AT_EX の入手

L^AT_EX も T_EX も基本的にはフリーソフトで、インターネットなどから自由にダウンロードして利用できる。しかし、初心者にはやはり CDROM 付きの

¹L^AT_EX2e は L^AT_EX の最新版で、前に p が付いているのは、日本語が扱えることを強調するためである。

上記参考書の購入をおすすめする。特に 2 冊目の「pL^AT_EX2e for WINDOWS Another Manual Vol.1 Basic Kit 1999」は、Windows 用のインストーラまでついていてパソコンの初心者でも簡単にインストールできる。

学校の端末にも (UNIX,NT どちらも) 日本語 T_EX が入っているので、そちらを使うのもいいだろう。

どうしても自分でインストールしたい人は <http://www.ascii.co.jp/pb/ptex/index.html> から。